

## 2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	鋼構造塑性設計指針改定小委員会		主 査 名：高松隆夫 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼構造運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：中島正愛
設 置 期 間	2007 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・1975 年に刊行された『鋼構造塑性設計指針』の改定作業 2007 年度：各章の改定原稿執筆者に原案作成依頼 2008 年度：改定原稿の完成と、鋼構造運営委員会および構造委員会に査読依頼		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査 高松隆夫(広島工業大学) 幹事 玉井宏章(広島工業大学) 委員 松尾 彰(広島大学)・近藤一夫(広島大学)・川口 淳(三重大学)・ 桑原 進(京都工芸繊維大学)・金尾伊織(京都工芸繊維大学)・ 五十嵐規矩夫(東京工業大学)・清水 斉(竹中工務店)・ 広重隆明(竹中工務店)・牧野章文(竹中工務店)・鈴木直幹(竹中工務店)・ 夜船康司(竹中工務店)・聲高裕治(大阪工業大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2007 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>2006 年度の鋼構造塑性設計指針改定検討 WG の委員を中心に改定原稿執筆者を加えた小委員会をつくり改定作業を行った。『鋼構造塑性設計指針』は次に示す四つの内容に分けられる。塑性設計の概要、座屈を考慮した部材設計、接合部の設計、塑性設計手順および設計例、である。それぞれの内容について、責任者を決めて改定原稿の取りまとめをお願いした。委員会は奇数月に開催し、開催場所は広島である。</p> <p>第 1 回(5 月)：指針改定の目的、方針および内容の確認を行うとともに、改定作業計画を立てた。第 2 回(7 月)：塑性設計の概要(責任者：近藤委員)の改定原稿について検討した。第 3 回(10 月)：接合部の設計(責任者：桑原委員)の改定原稿について検討した。第 4 回(11 月)：座屈を考慮した部材設計(責任者：川口委員)の改定原稿について検討した。第 5 回(1 月)：塑性設計手順および設計例(責任者：清水委員)の改定原稿について検討した。第 6 回(3 月)：改定原稿(素案)の取りまとめを行うとともに、2008 年度の計画について検討する予定である。</p> <p>このように、当初の予定のとおり委員会活動を行っている。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	1. 上記のように、年 6 回の委員会召集が必要であるが、旅費が不足しており、外部資金を注入して行っている。